

後悔の時間的変化

～行為後悔と非行為後悔の違い～

林 和宏

1. 問題

本研究の目的は、場面想定法を用いた質問紙実験によって、後悔に時間的変化が見られるかを検討することである。この研究を通して、後悔の状況や過去の行動が後悔の時間的変化に及ぼす影響について考察する。

私たちは人生において選択することを迫られている。それは受験や恋愛などの人生を左右することから、遊んでいるときや買い物しているときなどのほんの些細なことまで幅広く存在している。二つある選択肢の中からどちらか一つを選んだとき、もう一つの選択肢にしていればと考えたことがあるだろう。選択するということは反実思考するきっかけでもあるのだ。

反実思考または反実仮想 (counterfactual thinking) とは、「現実と異なる事態を想像する」ことといわれている (道家・村田、2007、p104)。また「“たんに～であればよかったのに”、あるいは“たんに～でなければよかったのに”といった発話反応、あるいは、そのように思考する心的プロセス」といわれている (太田・都築、2007、p338)。反実思考には上向きの反実思考と下向きの反実思考の2種類がある。上向きの反実思考は実際に起きたことより良い状況を想像することであり、下向きの反実思考は実際に起きたことより悪い状況を想像することである。例えば試験の結果が出たとき、ちゃんと準備していればもっと良い点数を取ったかもしれない、と想像することは上向きの反実思考である。まったく準備していなければもっと悪い点数を取ってしまったかもしれない、と想像することは下向きの反実思考である。上向きの反実思考は事実を否定的に捉えるので後悔が生じるが、下向きの反実思考は事実を肯定的に捉えるので後悔は生じない。

後悔とは、道家・村田 (道家・村田、2009) が Zeelenberg & Pieters (Zeelenberg & Pieters, 2006) の定義を紹介しているが、「違う決定をしていたら今の状態がもっとよくなっていたかもしれないと想像したときに感じるネガティブな感情」である。後悔にも行為後悔と非行為後悔の2種類がある。行為後悔は行動しなければよかったと後悔することであり、非行為後悔は行動すればよかったと後悔することである。例えばイベントに参加するか迷ったとき、参加することにしたが全然楽しくなかった場合は行為後悔が生じる。気づいたときにはチケットが完売して参加できなかった場合は非行為後悔が生じる。

後悔研究では「行わなかったこと (inaction) に対して「～すればよかった」と感じる後悔と、行ったこと (action) に対して「～しなければよかった」と感じる後悔とに分類し、どちらの感情がより強く感じられるのか、また、より思い出されやすいのか」ということを扱ってきた (塩崎・中里、2010、p221)。行為後悔と非行為後悔に関する研究が進められることにより、行動するかしないかで選択することを迫られたときに、場合によって判断することで、より後悔が生じない方を選ぶことができるかもしれない。

関連する先行研究から後悔に時間的変化が見られることがわかっている。上市・楠見 (上市・楠見、2004) が Gilovich & Medvec (Gilovich & Medvec, 1994) の研究を紹介しているが、「大学の転入学などの人生に関する状況において、ある行動をしてその結果がうまくいかなかった場合に感じる後悔は短期的であるが、行動しなかった場合に生じる後悔は長期的に人の心に残ること」が明らかになった。行為後悔は非行為後悔より短期的に生じるが、非行為後悔は行為後悔より長期的に生じるということである。

本研究では行為後悔と非行為後悔の時間的変化の違いが見られるかを検討する。先に述べたように選択することは幅広く存在している。同じように後悔は様々な状況において生じる感情であり、後悔の状況や過去の行動が後悔の時間的変化に影響を及ぼすかを考察する。上記で挙げた先行研究を踏まえ、「行為後悔は非行為後悔と比較して短期的に生じる」(仮説1)、「非行為後悔は行為後悔と比較して長期的に生じる」(仮説2)という2つの仮説を立てて検討する。

2. 方法

調査時期

2014年12月5日、12月12日。

調査場所

文教大学湘南キャンパスで開講されている情報行動論とプレゼミナールAの講義。

調査主体

文教大学情報学部広報学科3年林和宏。

実験デザイン

後悔の種類（行為後悔／非行為後悔）
×後悔の状況
（受験／恋愛／映画鑑賞／消費行動）の
2要因被験者間計画であった。

調査対象者

文教大学湘南キャンパスで情報行動論またはプレゼミナールAを受講している大学生84名（男性34名、女性50名）を対象に質問紙実験を実施した。調査対象者の選出は有意抽出法による。その中から不備が多い質問紙を除外して分析したため、分析対象者は82名（男性33名、女性49名）であった。

調査手続き

授業時間の一部を使用し、「感情に関する調査」として実験を自記式の集合調査によって実施した。調査対象者に質問紙を配布し、後悔に関する独自に作成したシナリオを読んでから質問に回答するよう紙面で指示した。

質問紙には「受験」または「恋愛」と「映画鑑賞」または「消費行動」の4種類のシナリオを掲載した。「受験」または「恋愛」は比較的人生を左右する問題であり、「映画鑑賞」または「消費行動」は比較的些細な出来事である。シナリオには行為後悔と非行為後悔の2種類の条件を用意した。行為後悔はシナリオに登場する人物が行動したことで後悔するような内容であり、非行為後悔は行動しなかったことで後悔するような内容である。合計8種類の組み合わせの質問紙があり、調査対象者に8種類の質問紙を無作為に配布し、どれか1種類の質問紙に回答してもらった。

調査対象者はシナリオを読んでから「もしあなたが〇〇さんだったら、どれくらい後悔していますか」という質問によって、自分が登場人物だと仮定して経過時間別に

後悔している度合を回答した。後悔は実際に起きたことより良い状況を想像したときに生じるので、後悔すると同時にやり直したいと考えられる。そこで後悔している度合に加えてどれくらいやり直したいかを尋ねた。また調査対象者はシナリオに対応する過去の行動を尋ねる質問に回答した。

「受験」シナリオの行為後悔条件

佐藤さんは中学三年生です。高校受験をすることになりました。第一志望校のA高校は合格する可能性が低いですが、第二志望校のB高校は合格する可能性が高いです。佐藤さんはA高校を受験しましたが、落ちてしまいました。そして第二志望校のB高校へ行くことになりました。

質問項目の概要

質問紙には次の質問項目が含まれていた。

- ① 悔している度合 自分が登場人物だと仮定させ経過時間別（「a.直後」「b.1週間後」「c.1ヶ月後」「d.1年後」）に後悔している度合を尋ねた。回答方法は経過時間別に「1.とても後悔している」から「6.まったく後悔していない」までの6件法であった。
- ② やり直したい度合 自分が登場人物だと仮定させ経過時間別（「a.直後」「b.1週間後」「c.1ヶ月後」「d.1年後」）にやり直したい度合を尋ねた。回答方法は経過時間別に「1.とても後悔している」から「6.まったく後悔していない」までの6件法であった。
- ③ 過去の行動 シナリオに対応する過去の行動を尋ねた。過去の行動を尋ねる質問が後悔の時間的变化に影響を及ぼすと思われる。
- ④ 属性 性別、学年、学科について尋ねた。

年次計画

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 4～7月 | 研究テーマを検討・決定した。 |
| 8～11月 | 質問紙を検討・決定した。 |
| 12月 | 調査を実施した。 |
| 1～2月 | 調査データを分析し、結果を報告した。また報告書を作成した。 |

2. 結果

「受験」シナリオの行為後悔と非行為後悔の時間的変化

「受験」シナリオの行為後悔と非行為後悔で、経過時間別に後悔している度合の平均値に差があるかについて t 検定を行った。その結果、a. 直後 ($t=5.765$, $df=39$, $p<.001$) と b. 1 週間後 ($t=3.876$, $df=39$, $p<.001$) と d. 1 年後 ($t=-3.017$, $df=39$, $p<.01$) について、行為後悔と非行為後悔で後悔している度合の平均値に有意差があった。c. 1 ヶ月後 ($t=0.145$, $df=39$, n. s.) については後悔している度合の平均値¹に有意差はなかった。

後悔している度合から「行為後悔は非行為後悔と比較して短期的に生じ、非行為後悔は行為後悔と比較して長期的に生じる」ということが検証された。この研究を行う際に立てた仮説は「行為後悔は非行為後悔と比較して短期的に生じる」

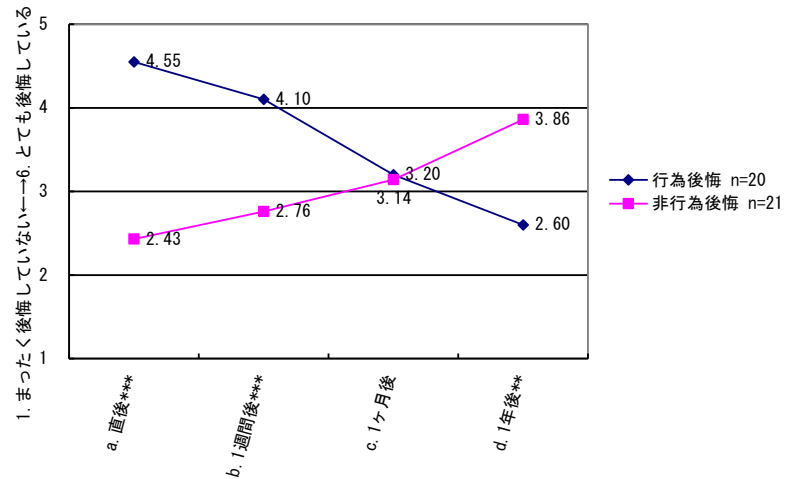
(仮説 1)、「非行為後悔は行為後悔と比較して長期的に生じる」(仮説 2) というものだった。つまり後悔している度合では仮説 1 と仮説 2 を支持する結果になった。

またやり直したい度合の平均値に差があるかについて t 検定を行った。その結果、a. 直後 ($t=5.600$, $df=39$, $p<.001$) と b. 1 週間後 ($t=3.693$, $df=39$, $p<.001$) について、行為後悔と非行為後悔でやり直したい度合の平均値に有意差があった。c. 1 ヶ月後 ($t=0.145$, $df=39$, n. s.) と d. 1 年後 ($t=-1.857$, $df=39$, n. s.) についてはやり直したい度合の平均値に有意差はなかった。

やり直したい度合からは「行為後悔は非行為後悔と比較して短期的に生じる」ということが検証された。つまりやり直したい度合では仮説 1 を支持する結果になったが、仮説 2 を支持する結果は得ることができなかった。

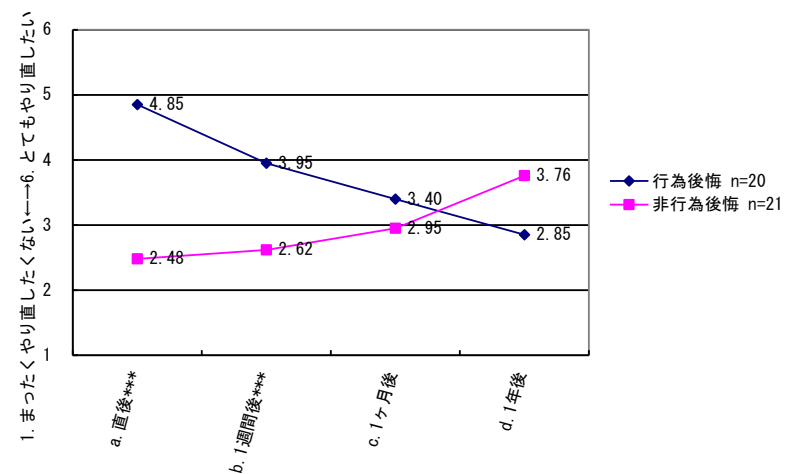
後悔している度合とやり直したい度合の d. 1 年後を比較すると、やり直したい度合の行為後悔の方が高いことがわかる。「受験」シナリオには高校受験について書かれていた。高校受験は何度も挑戦することが困難であり、やり直せないときに失敗するとやり直したい

図 1 「受験」シナリオの行為後悔と非行為後悔の時間的変化（後悔している度合）



** $p<.01$, *** $p<.001$

図 2 「受験」シナリオの行為後悔と非行為後悔の時間的変化（やり直したい度合）



*** $p<.001$

という気持ちがより強くなるのではないだろうか。そのためやり直したい度合の平均値に有意差なく、仮説 2 を支持しない結果になったと考察する。

後悔している度合に対し、後悔の種類（行為後悔／非行為後悔）と経過時間（直後／1 週間後／1 ヶ月後／1 年後）の分散分析を行ったところ、後悔の種類と経過時間の有意な交互作用 ($F(3, 156) = 15.10$, $p<.001$) が見られた。またやり直したい度合に対し、分散分析を行ったところ、後悔の種類と経過時間の有意な交互作用 ($F(3, 156) = 10.76$, $p<.001$) が見られた。つまり行為後悔は時間が経過すると生じなくなり、非行為後悔は時間が経過すると生じるということであり、仮説 1 と仮説 2 を支持する結果になった。

¹ 分析の結果を図で示す際に理解しやすくするため、6 件法で回答した後悔している度合とやり直したい度合を「1 (とても後悔している) → 6, 2 → 5, 3 → 4, 4 → 3, 5 → 2, 6 (まったく後悔していない) → 1」というように変更した。

「恋愛」シナリオの行為後悔と 非行為後悔の時間的変化

「恋愛」シナリオの行為後悔と非行為後悔で、経過時間別に後悔している割合の平均値に差があるかについてt検定を行った。その結果、a.直後 ($t=-0.059$, $df=39$, n. s.) と b.1週間後 ($t=-0.276$, $df=37.493$, n. s.) と c.1ヶ月後 ($t=-0.862$, $df=39$, n. s.) と d.1年後 ($t=-1.738$, $df=39$, n. s.) について、行為後悔と非行為後悔で後悔している割合の平均値に有意差はなかった。

またやり直したい割合の平均値に差があるかについてt検定を行った。その結果、a.直後 ($t=1.726$, $df=39$, n. s.) と b.1週間後 ($t=1.094$, $df=39$, n. s.) と c.1ヶ月後 ($t=-0.613$, $df=39$, n. s.) と d.1年後 ($t=-1.565$, $df=39$, n. s.) について、行為後悔と非行為後悔でやり直したい割合の平均値に有意差はなかった。

後悔しているに対し、後悔の種類（行為後悔/非行為後悔）と経過時間（直後/1週間後/1ヶ月後/1年後）の分散分析を行ったところ、経過時間の主効果 ($F(3, 156) = 8.71$, $p < .001$) が有意だった。またやり直したい割合に対し、分散分析を行ったところ、経過時間の主効果 ($F(3, 156) = 7.83$, $p < .001$) が有意だった。つまり時間が経過するほど後悔は生じないということである。

「映画鑑賞」シナリオの行為後悔と 非行為後悔の時間的変化

「映画鑑賞」シナリオの行為後悔と非行為後悔で、経過時間別に後悔している割合の平均値に差があるかについてt検定を行った。その結果、a.直後 ($t=1.063$, $df=39$, n. s.) と b.1週間後 ($t=-1.569$, $df=39$, n. s.) と c.1ヶ月後 ($t=-1.667$, $df=39$, n. s.) と d.1年後 ($t=-1.292$, $df=32.919$, n. s.) について、行為後悔と非行為後悔で後悔している割合の平均値に有意差はなかった。

またやり直したい割合の平均値に差があるかについてt検定を行った。その結果、a.直後 ($t=1.074$, $df=39$, n. s.) と b.1週間後 ($t=-0.289$, $df=39$, n. s.) と c.1ヶ月後 ($t=-0.757$, $df=39$, n. s.) と d.1年後 ($t=-0.125$, $df=34.383$, n. s.) について、行為後悔と非行為後悔でやり直したい割合の平均値に有意差はなかった。

図3 「恋愛」シナリオの行為後悔と非行為後悔の時間的変化（後悔している割合）

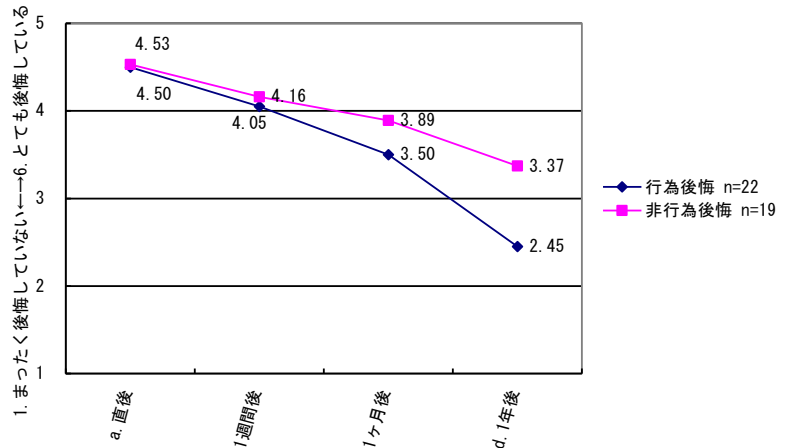


図4 「恋愛」シナリオの行為後悔と非行為後悔の時間的変化（やり直したい割合）

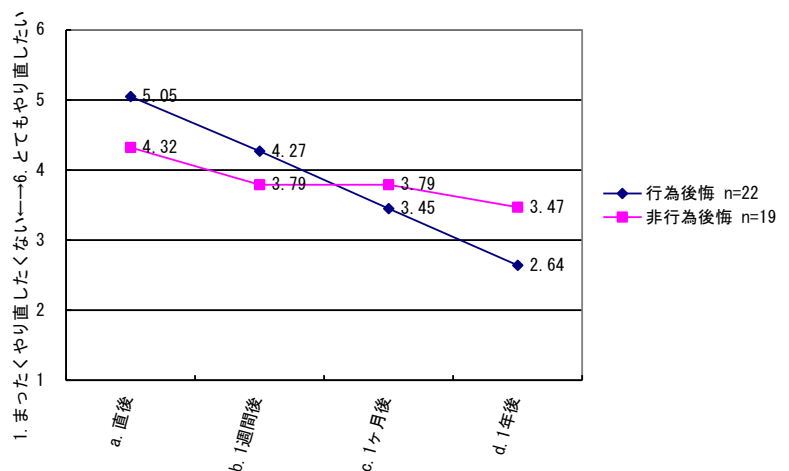
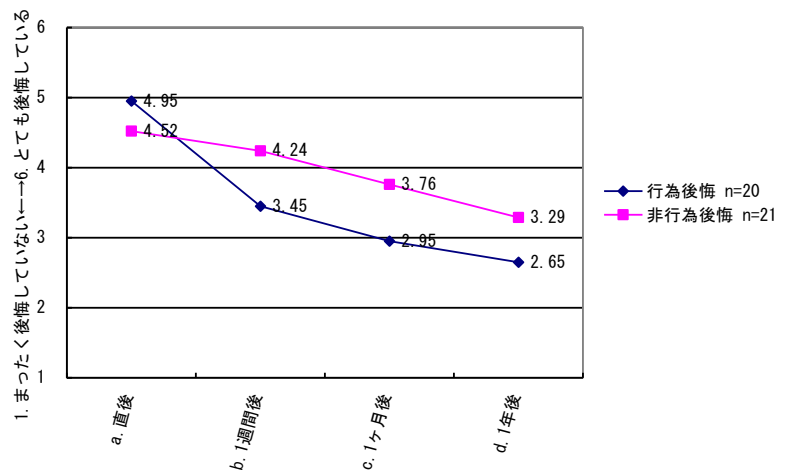


図5 「映画鑑賞」シナリオの行為後悔と非行為後悔の時間的変化（後悔している割合）



後悔している割合に対し、後悔の種類（行為後悔／非行為後悔）と経過時間（直後／1週間後／1ヶ月後／1年後）の分散分析を行ったところ、経過時間の主効果 ($F(3, 156) = 10.50, p < .001$) が有意だった。またやり直したい割合に対し、分散分析を行ったところ、経過時間の主効果 ($F(3, 156) = 7.83, p < .001$) が有意だった。つまり時間が経過するほど後悔は生じないということである。

「消費行動」シナリオの行為後悔と非行為後悔の時間的変化

「消費行動」シナリオの行為後悔と非行為後悔で、経過時間別に後悔している割合の平均値に差があるかについてt検定を行った。その結果、d.1年後 ($t = 2.427, df = 39, p < .05$) について、行為後悔と非行為後悔で後悔している割合の平均値に有意差があった。a.直後 ($t = 1.181, df = 39, n.s.$) と b.1週間後 ($t = 1.796, df = 39, n.s.$) と c.1ヶ月後 ($t = 1.999, df = 39, n.s.$) については後悔している割合の平均値に有意差はなかった。

またやり直したい割合の平均値に差があるかについてt検定を行った。その結果、a.直後 ($t = 2.435, df = 22.452, p < .05$) と b.1週間後 ($t = 2.492, df = 39, p < .05$) と c.1ヶ月後 ($t = 2.824, df = 33.553, p < .01$) と d.1年後 ($t = 2.675, df = 39, p < .05$) について、行為後悔と非行為後悔でやり直したい割合の平均値に有意差があった。

後悔している割合とやり直したい割合から「行為後悔の方が非行為後悔よりも強い」ということが検証された。後悔している割合とやり直したい割合では仮説1と仮説2を支持しない結果になった。

行為後悔と非行為後悔の「消費行動」シナリオを比較すると、行為後悔の方が非行為後悔よりも後悔の程度が大きいことが推測される。行為後悔は行動したことで金銭的損害を被るが、非行為後悔は行動しなかったことで購入できなかったもの、また同じような商品を探すことができる。そのため仮説1と仮説2のように行為後悔と非行為後悔の時間的変化に違いが見られなかったと考察する。

図6 「映画鑑賞」シナリオの行為後悔と非行為後悔の時間的変化（やり直したい割合）

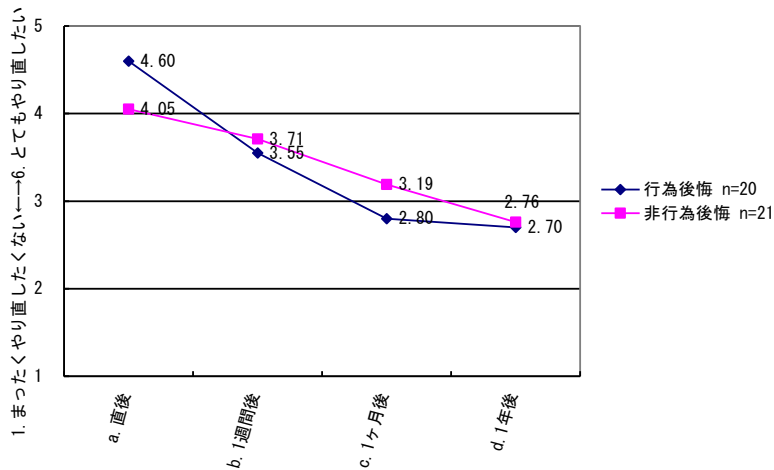


図7 「消費行動」シナリオの行為後悔と非行為後悔の時間的変化（後悔している割合）

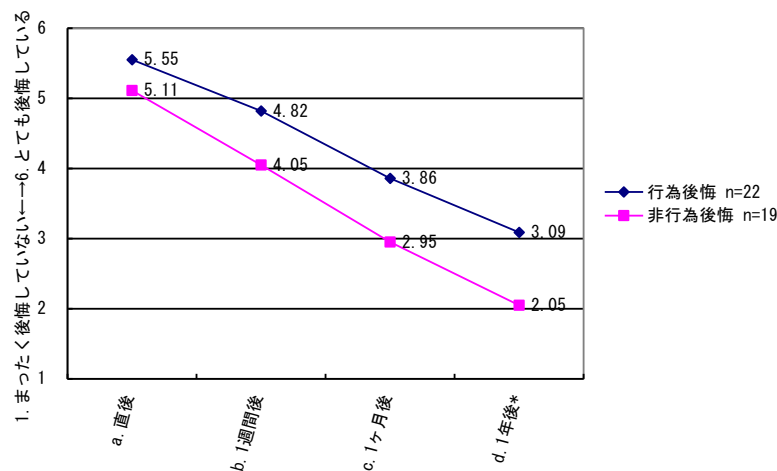
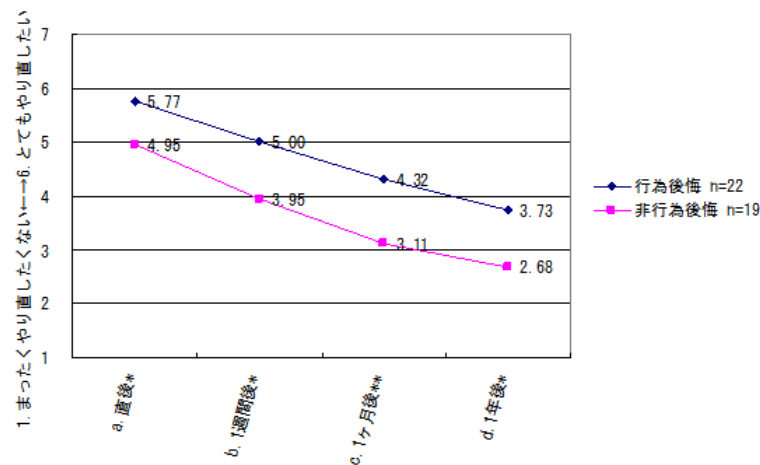


図8 「消費行動」シナリオの行為後悔と非行為後悔の時間的変化（やり直したい割合）



* $p < .05$, ** $p < .01$

後悔している割合に対し、後悔の種類（行為後悔／非行為後悔）と経過時間（直後／1週間後／1ヶ月後／1年後）の分散分析を行ったところ、後悔の種類の主効果（ $F(1, 156) = 13.99, p < .001$ ）と経過時間的主効果（ $F(3, 156) = 32.30, p < .001$ ）が有意だった。またやり直したい割合に対し、分散分析を行ったところ、後悔の種類の主効果（ $F(1, 156) = 27.99, p < .001$ ）と経過時間的主効果（ $F(3, 156) = 23.12, p < .001$ ）が有意だった。しかし後悔の種類と経過時間の有意な交互作用が見られなかったため、仮説1と仮説2を支持する結果は得ることができなかった。

過去の行動と行為後悔の後悔している割合

「映画鑑賞」シナリオで巻末資料の問12の県内の映画館で鑑賞する割合と問8の直後に後悔している割合の組み合わせに関連があるかについて相関分析を行った。その結果、県内の映画館で鑑賞する割合と直後に後悔している割合には中程度の負の相関が認められた（ $r = -.521, p < .05$ ）。県内の映画館で鑑賞するほど直後に後悔していないということである。

「消費行動」シナリオで巻末資料の問11の商品を購入する回数と問8の1年後に後悔している割合の組み合わせに関連があるかについて相関分析を行った。その結果、商品を購入する回数と1年後に後悔している割合には中程度の正の相関が認められた（ $r = .485, p < .05$ ）。商品を購入するほど1年後に後悔しているということである。

過去の行動と行為後悔のやり直したい割合

「恋愛」シナリオで巻末資料の問4の恋愛に対する積極性と問2の直後にやり直したい割合の組み合わせに関連があるかについて相関分析を行った。その結果、恋愛に対する積極性と直後にやり直したい割合には中程度の正の相関が認められた（ $r = .569, p < .05$ ）。恋愛に対して積極的でないほど直後にやり直したいということである。

「映画鑑賞」シナリオで巻末資料の問12の県内の映画館で鑑賞する割合と問9の直後にやり直したい割合の組み合わせに関連があるか

について相関分析を行った。その結果、県内の映画館で鑑賞する割合と直後にやり直したい割合には中程度の負の相関が認められた（ $r = -.552, p < .05$ ）。県内の映画館で鑑賞するほど直後にやり直したくないということである。

過去の行動と非行為後悔の後悔している割合

「映画鑑賞」シナリオで巻末資料の問12の県外の映画館で鑑賞する割合と問8の1週間後に後悔している割合の組み合わせに関連があるかについて相関分析を行った。その結果、県外の映画館で鑑賞する割合と1週間後に後悔している割合には中程度の負の相関が認められた（ $r = -.538, p < .05$ ）。県外の映画館で鑑賞するほど1週間後に後悔していないということである。

「映画鑑賞」シナリオで巻末資料の問12の地上波放送のテレビで鑑賞する割合と問8の直後に後悔している割合の組み合わせに関連があるかについて相関分析を行った。その結果、地上波放送のテレビで鑑賞する

表1 過去の後悔と行為後悔の後悔している割合

	a.直後	b.1週間後	c.1ヶ月後	d.1年後
q4.受験した高校の数	-.392	-.517	-.242	-.204
q5.受験勉強の開始時期	-.191	-.237	-.340	-.129
q4.恋愛に対する積極性	.364	.209	.189	-.209
q5.人間関係を気にする割合	.084	.086	.374	.084
q11.映画を鑑賞する回数	.082	.308	.201	.290
q12a.県内の映画館	-.521*	-.242	-.118	-.101
q12b.県外の映画館	-.269	-.189	-.185	-.138
q12c.地上波放送のテレビ	-.187	-.419	-.317	-.316
q12d.映画専門チャンネル	-.222	-.242	-.221	-.198
q11.商品を購入する回数	.169	.273	.334	.485*
q12.自由に使えるお金	.437	.164	.010	-.158

表2 行為後悔のやり直したい割合

	a.直後	b.1週間後	c.1ヶ月後	d.1年後
q4.受験した高校の数	-.329	-.318	-.269	-.424
q5.受験勉強の開始時期	.224	-.036	-.092	-.013
q4.恋愛に対する積極性	.569*	.313	.074	.249
q5.人間関係を気にする割合	.152	-.050	.187	.185
q11.映画を鑑賞する回数	.147	.255	.250	.296
q12a.県内の映画館	-.552*	-.254	-.061	-.121
q12b.県外の映画館	-.155	-.183	-.100	-.147
q12c.地上波放送のテレビ	-.409	-.403	-.290	-.319
q12d.映画専門チャンネル	-.098	-.223	-.128	-.154
q11.商品を購入する回数	-.326	-.033	.111	.342
q12.自由に使えるお金	.000	.244	.089	-.242

度合と直後に後悔している度合には中程度の負の相関が認められた ($r = -.613, p < .01$)。地上波放送のテレビで鑑賞するほど直後に後悔していないということである。

過去の行動と非行為後悔のやり直したい度合

「恋愛」シナリオで巻末資料の問4の恋愛に対する積極性と問2の1ヶ月後にやり直したい度合の組み合わせに関連があるかについて相関分析を行った。

その結果、恋愛に対する積極性と1ヶ月後にやり直したい度合には強い負の相関が認められた ($r = -.732, p < .01$)。恋愛に対して積極的であるほど1ヶ月後にやり直したくないということである。

「映画鑑賞」シナリオで巻末資料の問12の県外の映画館で鑑賞する度合と問9の1ヶ月後にやり直したい度合の組み合わせに関連があるかについて相関分析を行った。その結果、県外の映画館で鑑賞する度合と1ヶ月後にやり直したい度合には中程度の負の相関が認められた ($r = -.537, p < .05$)。県外の映画館で鑑賞するほど1ヶ月後にやり直したくないということである。

4. 考察

本研究の目的は、行為後悔と非行為後悔の時間的変化に違いが見られるかを検討し、後悔の状況や過去の行動が後悔の時間的変化に影響を及ぼすかを考察することであった。この結果を要約した上で考察を行う。

「受験」「恋愛」「映画鑑賞」「消費行動」シナリオの行為後悔と非行為後悔で、経過時間別に後悔している度合とやり直したい度合の平均値を比較した結果、「受験」と「消費行動」シナリオの後悔している度合とやり直したい度合に有意差があった。また「恋愛」と「映画鑑賞」シナリオの後悔している度合とやり直したい度合に有意差はなかったが、過去の行動の間にはいくつか有意な関連があった。

本研究から行為後悔と非行為後悔の時間的変化に違いが見られることがわかった。また後悔の状況や過去

表3 非行為後悔で後悔している度合

	a.直後	b.1週間後	c.1ヶ月後	d.1年後
q4.受験した高校の数	-.086	.145	.057	.110
q5.受験勉強の開始時期	-.469	-.401	-.220	.160
q4.恋愛に対する積極性	.235	-.250	-.502	-.502
q5.人間関係を気にする度合	-.178	-.320	-.117	-.256
q11.映画を鑑賞する回数	.299	.409	.077	-.087
q12a.県内の映画館	-.040	.099	.329	.370
q12b.県外の映画館	-.292	-.538*	-.308	-.240
q12c.地上波放送のテレビ	-.613**	-.227	.087	.205
q12d.映画専門チャンネル	-.045	.179	.252	.178
q11.商品を購入する回数	.070	.219	.036	.075
q12.自由に使えるお金	.077	.251	-.029	-.171

表4 非行為後悔でやり直したい度合

	a.直後	b.1週間後	c.1ヶ月後	d.1年後
q4.受験した高校の数	.024	.113	.237	.375
q5.受験勉強の開始時期	-.246	.020	.184	.045
q4.恋愛に対する積極性	.209	-.373	-.732*	-.530
q5.人間関係を気にする度合	-.238	.302	.063	-.367
q11.映画を鑑賞する回数	.195	.060	-.157	-.151
q12a.県内の映画館	.078	.017	.016	-.116
q12b.県外の映画館	-.429	-.537*	-.356	-.225
q12c.地上波放送のテレビ	-.300	.019	.026	-.040
q12d.映画専門チャンネル	.114	.065	.049	.069
q11.商品を購入する回数	.073	.328	.274	.041
q12.自由に使えるお金	.133	.311	.188	.357

の行動が後悔の時間的変化に影響を及ぼすことがわかった。しかし仮説1と仮説2を支持する結果を得ることができたのは「受験」シナリオだけであった。これは「受験」シナリオがその他のシナリオと比較して、今後の人生に影響を及ぼす可能性が高いことが関係していると推測する。後悔の状況によって後悔の時間的変化に違いが見られるというよりは、後悔の程度によって後悔の時間的変化に違いが見られるのではないだろうか。

後悔が生じる状況は様々である。本研究では後悔の時間的変化について検討したが、後悔の状況が後悔の時間的変化に影響を及ぼすということは、後悔が生じやすい状況と生じにくい状況があるのではないだろうか。今回は「受験」と「恋愛」は比較的人生を左右する問題であり、「映画鑑賞」と「消費行動」は比較的些細な出来事であるとした。しかし問題の大きさ以外にも後悔の生じやすさに影響を及ぼす要因があると考えられる。今後の研究では後悔の生じやすさに影響を及ぼす要因をさらに検討する必要がある。

引用文献

道家瑠見子・村田光二 (2007). 意思決定における後悔: 現状維持が後悔を生むとき 社会心理学研究, 23, 104-110.

道家瑠見子・村田光二 (2009). 後悔の過大推測: ネガティブ・フィードバック直後と時間経過後の予期的後悔と経験後悔 実験社会心理学研究, 48, 150-158.

Gilovich, T., & Medvec, V. H. (1994). The temporal pattern to the experience of regret. *Journal of Personality and Social Psychology*, 67, 357-365.

太田亨・都築誉史 (2007). 反実仮想と運の認知が継続の選択行動に及ぼす効果 日本社会心理学会第48回大会発表論文集, 338-339.

塩崎麻里子・中里和弘 (2010). 遺族の後悔と精神的健康の関連: 行ったことに対する後悔と行わなかったことに対する後悔 社会心理学研究, 25, 211-220.

上市秀雄・楠見孝 (2004). 後悔の時間的变化と対処方法: 意思決定スタイルと行動選択との関連性 心理学研究, 74, 487-495.

Zeelenberg, M., & Pieters, R. (2006). Looking backward with an eye on the future: Propositions toward a theory of regret regulation. (In) L. J. Sanna, & E. C. Chang (Eds.), *Judgments over time: The interplay of thoughts, feelings, and behaviors*. (pp. 210-229). New York: Oxford University Press. だ。

感情に関する調査

文教大学情報学部広報学科 林和宏

調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。本調査は、感情に関連する事柄を調べるためのものです。調査に対する回答は統計的に処理し、個人の回答が明らかになることはありません。無記名ですので率直にお答えください。お手数かと存じますが、ご協力よろしくお願いたします。

次の文章を読んでからお答えください。

佐藤さんは中学三年生です。高校受験をすることになりました。第一志望校の A 高校は合格する可能性が低いです。第二志望校の B 高校は合格する可能性が高いです。佐藤さんは A 高校を受験しましたが、落ちてしまいました。そして第二志望校の B 高校へ行くことになりました。

問1 もしあなたが佐藤さんだったら、どれくらい後悔していますか。次の a. ～ d. の各項目で後悔している度合を答えてください。(それぞれ1つに○)

	とても後悔している	後悔している	すこし後悔している	あまり後悔していない	後悔していない	まったく後悔していない
a.直後	1	2	3	4	5	6
b.1週間後	1	2	3	4	5	6
c.1ヶ月後	1	2	3	4	5	6
d.1年後	1	2	3	4	5	6

問2 もしあなたが佐藤さんだったら、どれくらいやり直したいですか。次の a. ～ d. の各項目でやり直したい度合を答えてください。(それぞれ1つに○)

	とてもやり直したい	やり直したい	すこしやり直したい	あまりやり直したくない	やり直したくない	まったくやり直したくない
a.直後	1	2	3	4	5	6
b.1週間後	1	2	3	4	5	6
c.1ヶ月後	1	2	3	4	5	6
d.1年後	1	2	3	4	5	6

問3 高校受験で受験する高校を悩んだことがありますか。(1つに○)

1. とても悩んだことがある 2. すこし悩んだことがある 3. あまり悩んだことがない
4. まったく悩んだことがない → 問8へ

問4 高校受験で受験した高校はいくつありますか。(1つに○)

1. 1校 2. 2校 3. 3校
4. 4校以上

問5 高校受験で受験勉強をいつから始めましたか。(1つに○)

1. 1年半前 2. 1年前 3. 半年前
4. 3ヶ月前 5. 1ヶ月前 6. やらなかった

問6 高校受験で後悔したことがありますか。(1つに○)

1. 後悔したことがある 2. 後悔したことがない → 問8へ

問7 どのようなことで後悔しましたか。(1つに○)

1. 不合格だったこと 2. 受験しなかったこと 3. その他

次の文章を読んでからお答えください。

高橋さんは映画鑑賞が趣味です。気になる映画が公開されました。その映画は高橋さんが住んでいる地域にある映画館では上映されていません。お金に余裕がなかったので見に行くか迷いましたが、見に行くことにしました。しかし全く面白くありませんでした。

問8 もしあなたが高橋さんだったら、どれくらい後悔していますか。次の a. ～ d. の各項目で後悔している度合を答えてください。(それぞれ1つに○)

	とても後悔している	後悔している	すこし後悔している	あまり後悔していない	後悔していない	まったく後悔していない
a.直後	1	2	3	4	5	6
b.1週間後	1	2	3	4	5	6
c.1ヶ月後	1	2	3	4	5	6
d.1年後	1	2	3	4	5	6

問9 もしあなたが高橋さんだったら、どれくらいやり直したいですか。次の a. ～ d. の各項目でやり直したい度合を答えてください。(それぞれ1つに○)

	とてもやり直したい	やり直したい	すこしやり直したい	あまりやり直したくない	やり直したくない	まったくやり直したくない
a.直後	1	2	3	4	5	6
b.1週間後	1	2	3	4	5	6
c.1ヶ月後	1	2	3	4	5	6
d.1年後	1	2	3	4	5	6

問10 映画館で映画を鑑賞したことがありますか。(1つに○)

1. 鑑賞したことがある 2. 鑑賞したことがない → F1へ

問11 映画館で映画を1年平均何回鑑賞していますか。(1つに○)

1. 1～2回 2. 3～5回 3. 6～9回
4. 10回以上

問12 映画をどのように鑑賞していますか。次の a. ～ d. の各項目で鑑賞する度合を答えてください。(それぞれ1つに○)

	とても鑑賞する	すこし鑑賞する	あまり鑑賞しない	まったく鑑賞しない
a.県内の映画館	1	2	3	4

b.県外の映画館	1	2	3	4
c.地上波放送のテレビ	1	2	3	4
d.映画専門チャンネル	1	2	3	4

問13 映画館で映画を鑑賞して後悔したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 後悔したことがある | 2. 後悔したことがない |
|--------------|--------------|

問14 映画館で映画を鑑賞しないで後悔したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 後悔したことがある | 2. 後悔したことがない |
|--------------|--------------|

最後にあなた自身についてお聞きします。

F1.あなたの性別(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

F2.あなたの学年(1つに○)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年次 | 2. 2年次 | 3. 3年次 |
| 4. 4年次 | | |

F3.あなたの学科(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 広報 | 2. 経営情報 | 3. 情報システム |
| 4. 情報社会 | 5. メディア表現 | 6. 経営 |
| 7. 国際理解 | 8. 国際観光 | 9. 健康栄養 |

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

「受験」シナリオの行為後悔条件

佐藤さんは中学三年生です。高校受験をすることになりました。第一志望校のA高校は合格する可能性が低いですが、第二志望校のB高校は合格する可能性が高いです。佐藤さんはA高校を受験しましたが、落ちてしまいました。そして第二志望校のB高校へ行くことになりました。

「受験」シナリオの非行為後悔条件

佐藤さんは中学三年生です。高校受験をすることになりました。第一志望校のA高校は合格する可能性が低いですが、第二志望校のB高校は合格する可能性が高いです。佐藤さんはB高校を受験して、合格することができました。そして第二志望校のB高校へ行くことになりました。

「映画鑑賞」シナリオの行為後悔条件

高橋さんは映画鑑賞が趣味です。気になる映画が公開されました。その映画は高橋さんが住んでいる地域にある映画館では上映されていません。お金に余裕がなかったので見に行くか迷いましたが、見に行くことにしました。しかし全く面白くありませんでした。

「映画鑑賞」シナリオの非行為後悔条件

高橋さんは映画鑑賞が趣味です。気になる映画が公開されました。その映画は高橋さんが住んでいる地域にある映画館では上映されていません。お金に余裕がなかったので見に行くか迷っていると、気づいたときにはその映画の公開期間は終了してしまいました。

感情に関する調査

文教大学情報学部広報学科 林和宏

調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。本調査は、感情に関連する事柄を調べるためのものです。調査に対する回答は統計的に処理し、個人の回答が明らかになることはありません。無記名ですので率直にお答えください。お手数かと存じますが、ご協力よろしくお願いたします。

次の文章を読んでからお答えください。

鈴木さんは高校三年生です。好きな人がいます。その人は高校一年生のときから好きでした。進路の違いから離ればなれになってしまうので、卒業式に告白しました。しかし残念ながら断られてしまい、今まで築いてきた関係が壊れてしまいました。

問1 もしあなたが鈴木さんだったら、どれくらい後悔していますか。次のa.～d.の各項目で後悔している度合を教えてください。(それぞれ1つに○)

	とても後悔している	すこし後悔している	あまり後悔していない	まったく後悔していない
a.直後	1	2	3	4
b.1週間後	1	2	3	4
c.1ヶ月後	1	2	3	4
d.1年後	1	2	3	4

問2 もしあなたが鈴木さんだったら、どれくらいやり直したいですか。次のa.～d.の各項目でやり直したい度合を教えてください。(それぞれ1つに○)

	とてもやり直したい	やり直したい	すこしやり直したい	あまりやり直したくない	やり直したくない	まったくやり直したくない
a.直後	1	2	3	4	5	6
b.1週間後	1	2	3	4	5	6
c.1ヶ月後	1	2	3	4	5	6
d.1年後	1	2	3	4	5	6

問3好きな人に告白したことがありますか。(1つに○)

1. 告白したことがある 2. 告白したことがない → 問8へ

問4 自分は恋愛に対して積極的だと思いますか。(1つに○)

1. とても積極的である 2. すこし積極的である 3. あまり積極的でない
4. まったく積極的でない

問5 自分は人間関係を気にする方だと思いますか。(1つに○)

1. とても気にする 2. すこし気にする 3. あまり気にしない
4. まったく気にしない

問6好きな人に告白して後悔したことがありますか。(1つに○)

1. 後悔したことがある 2. 後悔したことがない

問7好きな人に告白しないで後悔したことがありますか。(1つに○)

1. 後悔したことがある 2. 後悔したことがない

次の文章を読んでからお答えください。

田中さんはインターネットでよく買い物をする。最近寒くなってきたので、コートを買おうと思いました。通販サイトでイメージと同じコートを見つけたので、すぐに買うことにしました。しかし届いたコートはイメージと違い、返品しようとしたができませんでした。

問8 もしあなたが田中さんだったら、どれくらい後悔していますか。次のa.～d.の各項目で後悔している度合を教えてください。(それぞれ1つに○)

	とても後悔している	すこし後悔している	あまり後悔していない	まったく後悔していない
a.直後	1	2	3	4
b.1週間後	1	2	3	4
c.1ヶ月後	1	2	3	4
d.1年後	1	2	3	4

問9 もしあなたが田中さんだったら、どれくらいやり直したいですか。次のa.～d.の各項目でやり直したい度合を教えてください。(それぞれ1つに○)

	とてもやり直したい	やり直したい	すこしやり直したい	あまりやり直したくない	やり直したくない	まったくやり直したくない
a.直後	1	2	3	4	5	6
b.1週間後	1	2	3	4	5	6
c.1ヶ月後	1	2	3	4	5	6
d.1年後	1	2	3	4	5	6

問10 通販サイトで商品を購入したことがありますか。(1つに○)

1. 購入したことがある 2. 購入したことがない → F1へ

問11 通販サイトで商品を1ヵ月平均何回購入していますか。(1つに○)

1. 1～2回 2. 3～5回 3. 6～9回
4. 10回以上

問12 自由に使えるお金は1ヶ月平均いくらありますか。(1つに○)

1. 1万円未満 2. 1万円～2万円未満 3. 2万円～3万円未満
4. 3万円～4万円未満 5. 4万円～5万円未満 6. 5万円以上

問13 通販サイトで商品を購入して後悔したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 後悔したことがある | 2. 後悔したことがない |
|--------------|--------------|

問14 通販サイトで商品を購入しないで後悔したことがありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 後悔したことがある | 2. 後悔したことがない |
|--------------|--------------|

最後にあなた自身についてお聞きします。

F1.あなたの性別(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

F2.あなたの学年(1つに○)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年次 | 2. 2年次 | 3. 3年次 |
| 4. 4年次 | | |

F3.あなたの学科(1つに○)

- | | | |
|---------|-----------|-----------|
| 1. 広報 | 2. 経営情報 | 3. 情報システム |
| 4. 情報社会 | 5. メディア表現 | 6. 経営 |
| 7. 国際理解 | 8. 国際観光 | 9. 健康栄養 |

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

「恋愛」シナリオの行為後悔条件

鈴木さんは高校三年生です。好きな人がいます。その人は高校一年生のときから好きでした。進路の違いから離ればなれになってしまうので、卒業式に告白しました。しかし残念ながら断られてしまい、今まで築いてきた関係が壊れてしまいました。

「恋愛」シナリオの非行為後悔条件

鈴木さんは高校三年生です。好きな人がいます。その人は高校一年生のときから好きでした。進路の違いから離ればなれになってしまうので、卒業式に告白するつもりでした。しかし今まで築いてきた関係が壊れるのを恐れて、告白しませんでした。

「消費行動」シナリオの行為後悔条件

田中さんはインターネットでよく買い物をします。最近寒くなってきたので、コートを買おうと思いました。通販サイトでイメージと同じコートを見つけたので、すぐ買うことにしました。しかし届いたコートはイメージと違い、返品しようとしたできませんでした。

「消費行動」シナリオの非行為後悔条件

田中さんはインターネットでよく買い物をします。最近寒くなってきたので、コートを買おうと思いました。通販サイトでイメージと同じコートを見つけましたが、少し考えることにしました。しかし気づいたときにはコートは売り切れていて、買うことができませんでした。